

# スカイツリーを巡る川空間

## ・コンセプト

空間から空間への移動手段としてりようされることが殆どの通路は、一見マイナス因子を多く含んでいるように思われる。

しかし、その通路は、私たちの生活の中で必要とされる空間でもある。

故にこの通路の存在をもっと有用的に考え考察することで、今後他の空間を創造する上でより多角的な視点からかんがえることができると考えた。

## ・敷地

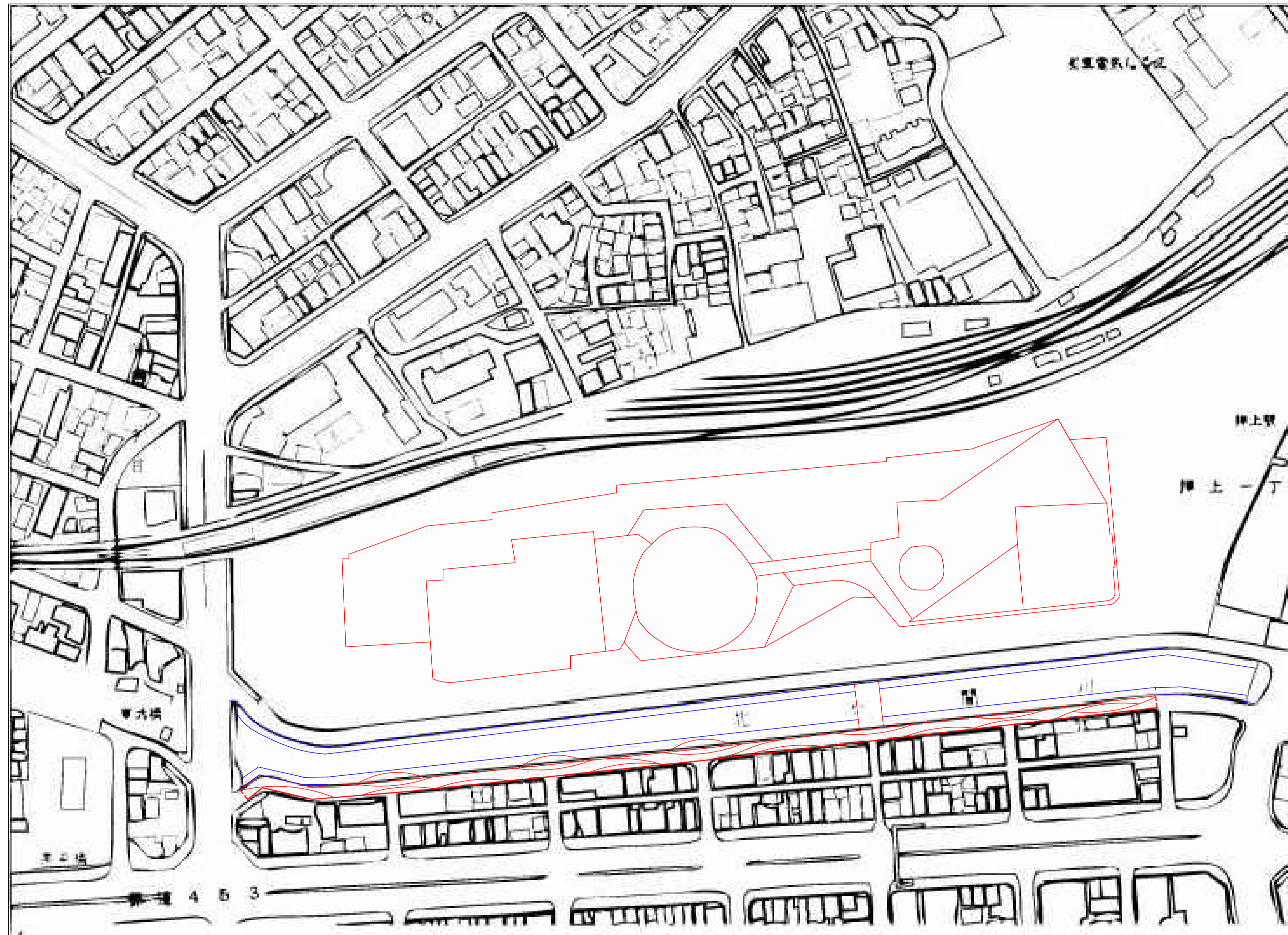
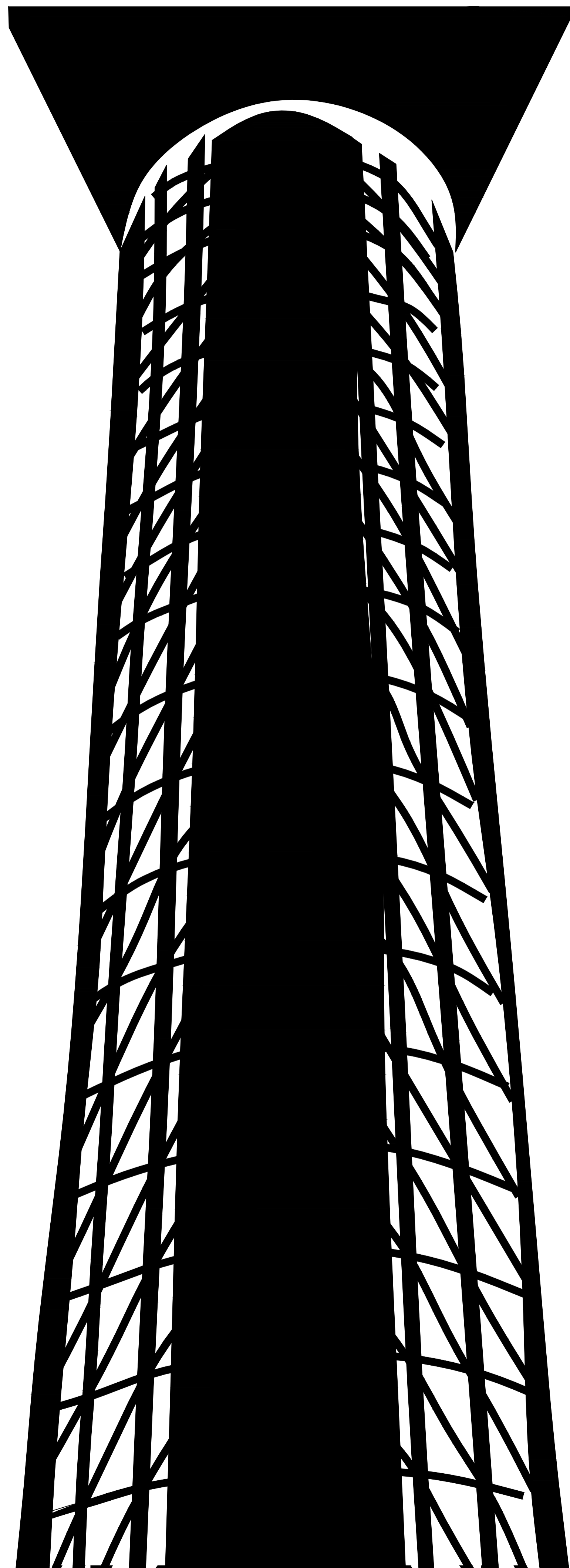
今春オープンする、スカイツリーのある押上を敷地として提案する。

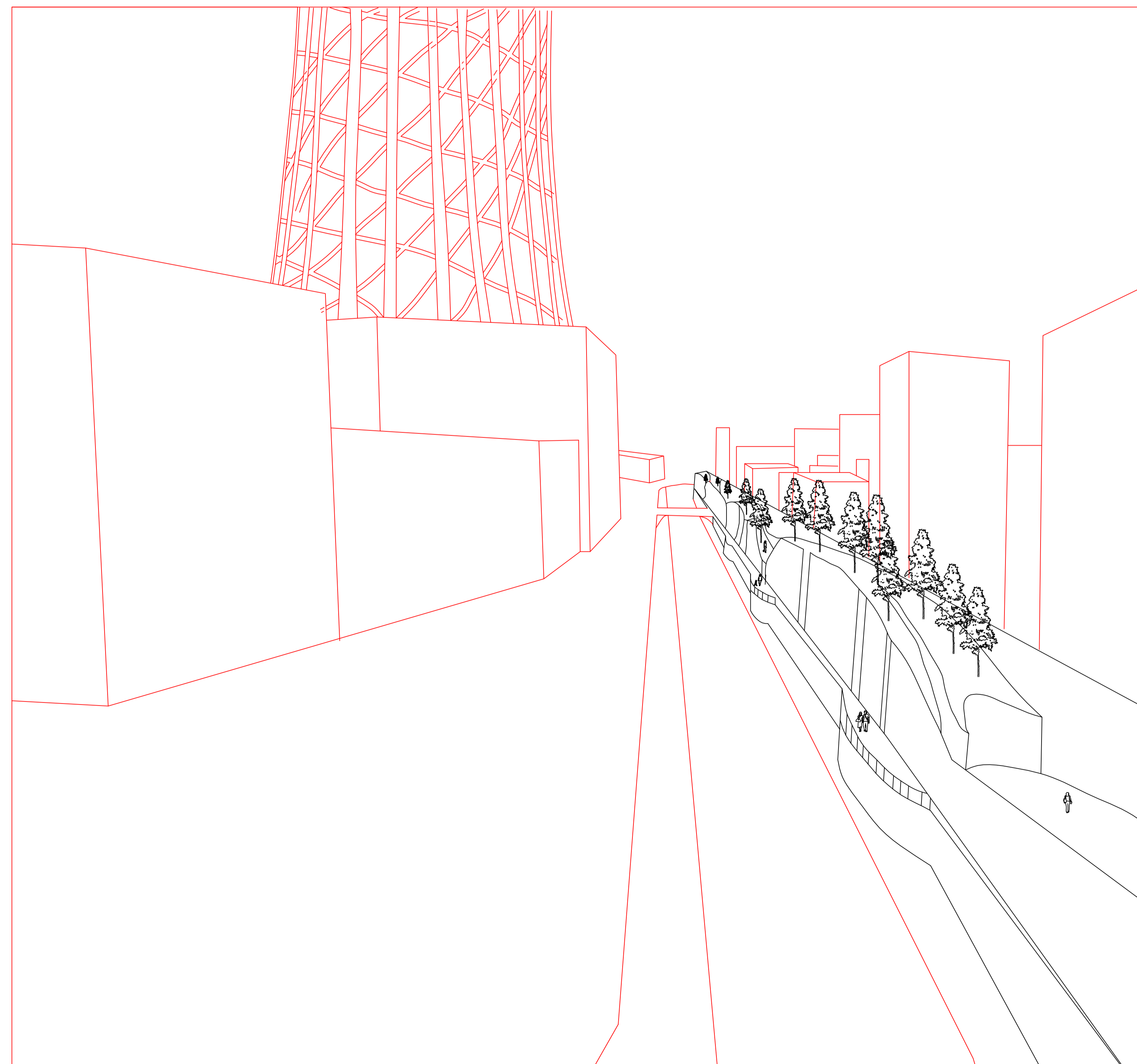
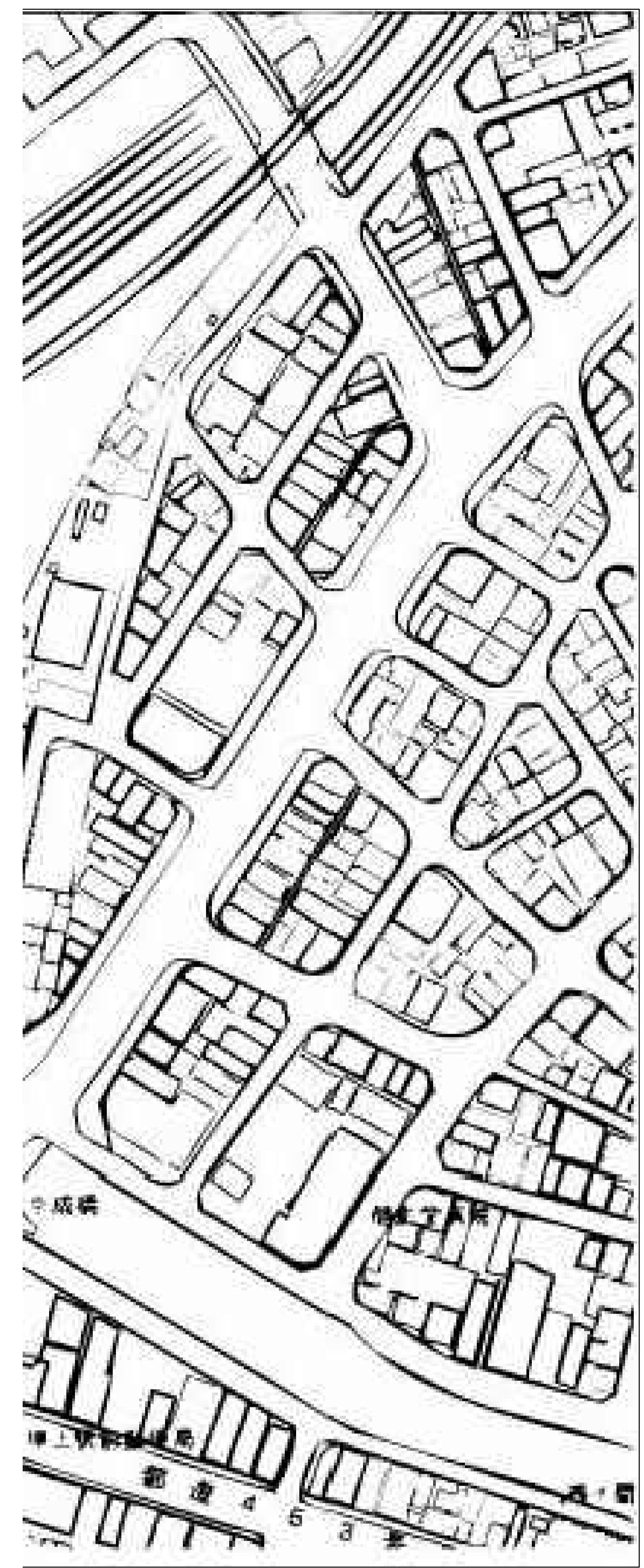
この押上は、過去に最も栄えた下町であったが、今では商業が衰退の一途をたどっている。

しかし、このスカイツリーの存在によって、今後このしたまちが大きく変化していくと期待される。

マイナス因子を含んだ「通路」の有用性を考察することによって、「通路」という存在をポジティブなベクトルに。

衰退していた下町がスカイツリーの存在によって挽回していく姿の「-」から「+」への転換を「通路」と「スカイツリーを巡る空間」をテーマに表現したい。





### 南側壁のもう一つの意味

人はどのようにそこに独自の空間と時間を作っていくのか。

閉鎖的であることと、もう一つは習慣だと考えた。

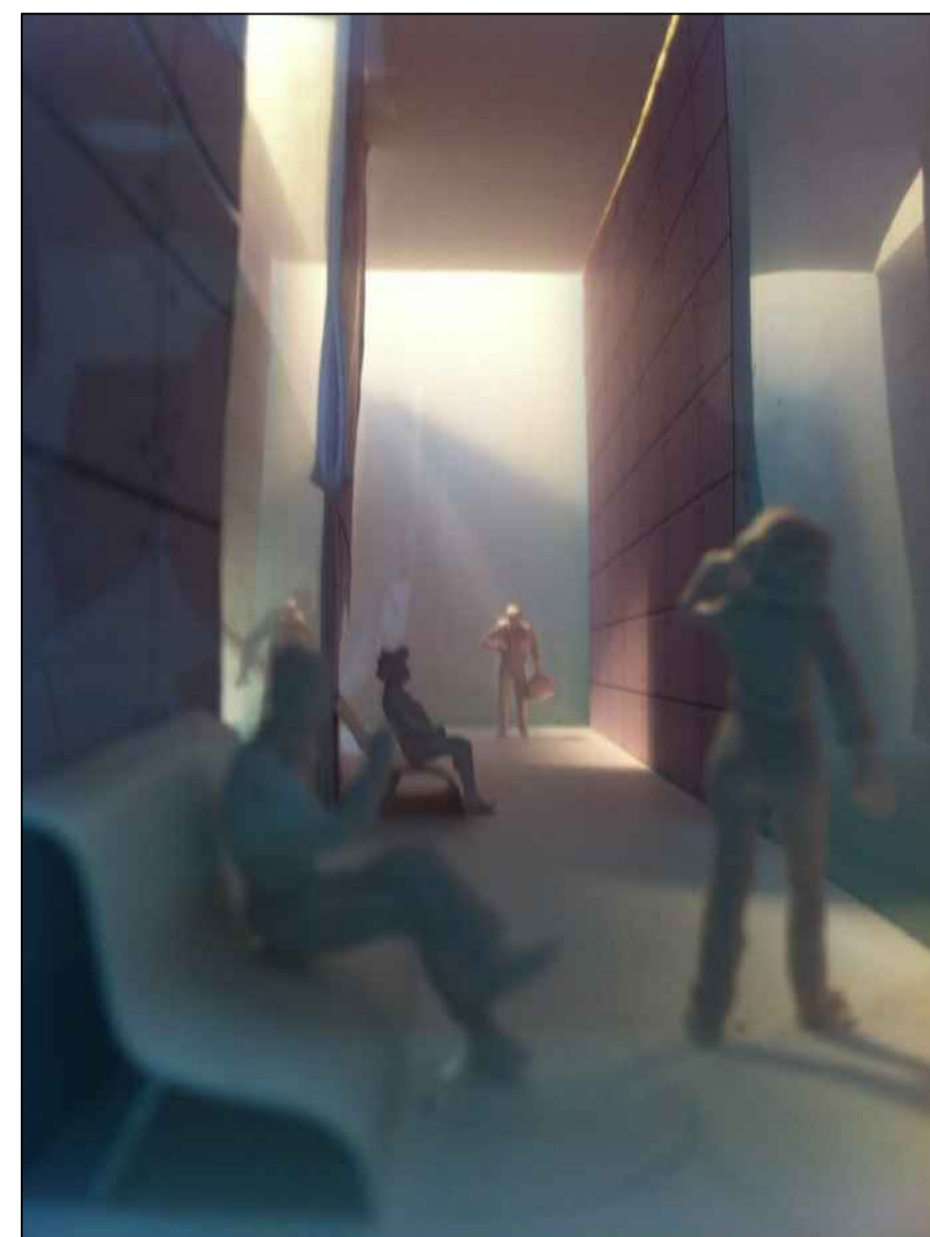
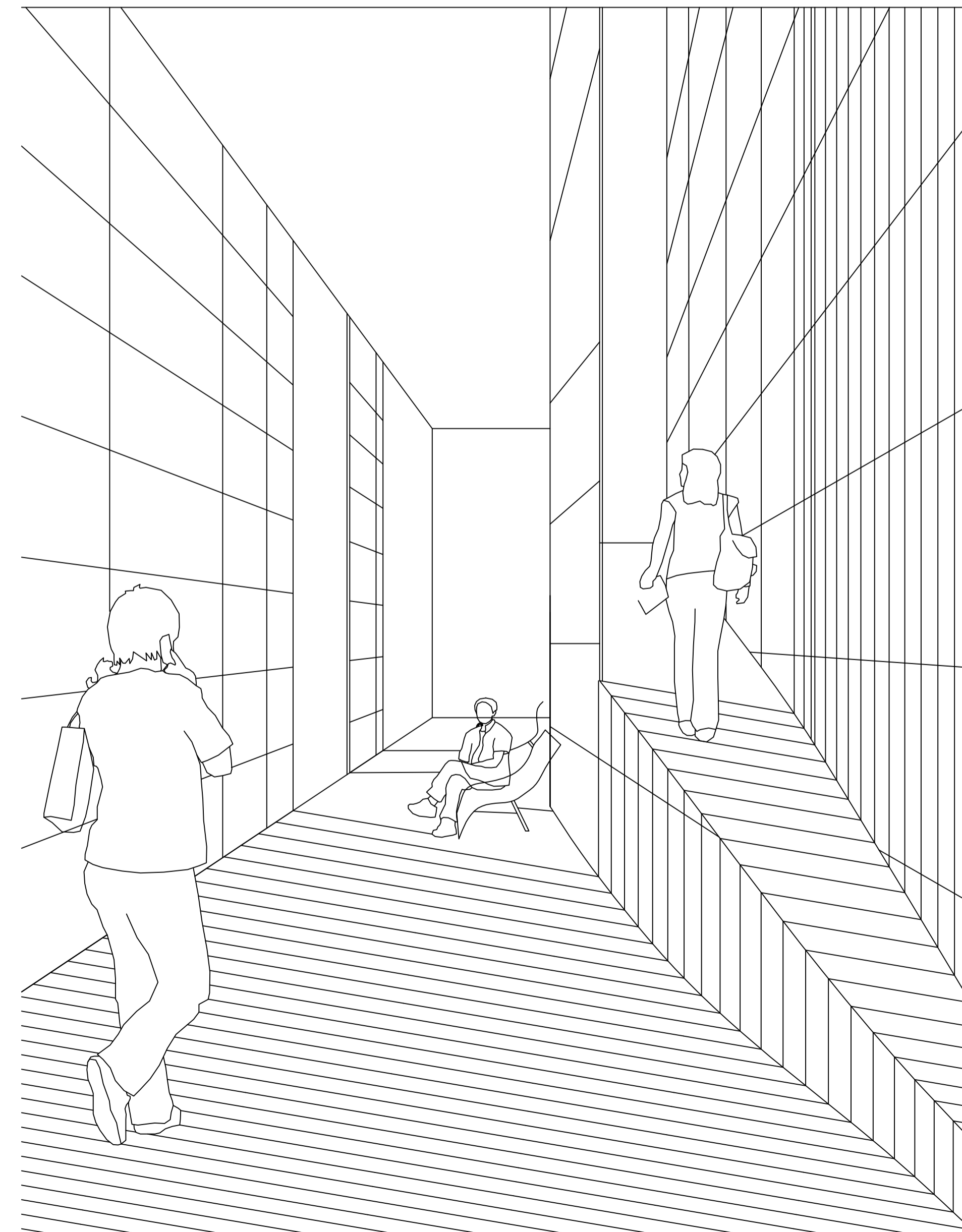
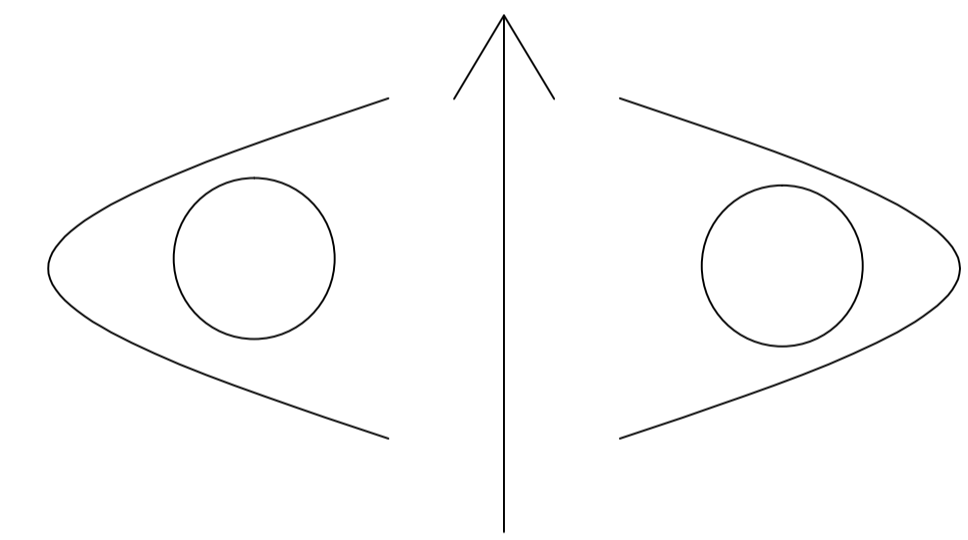
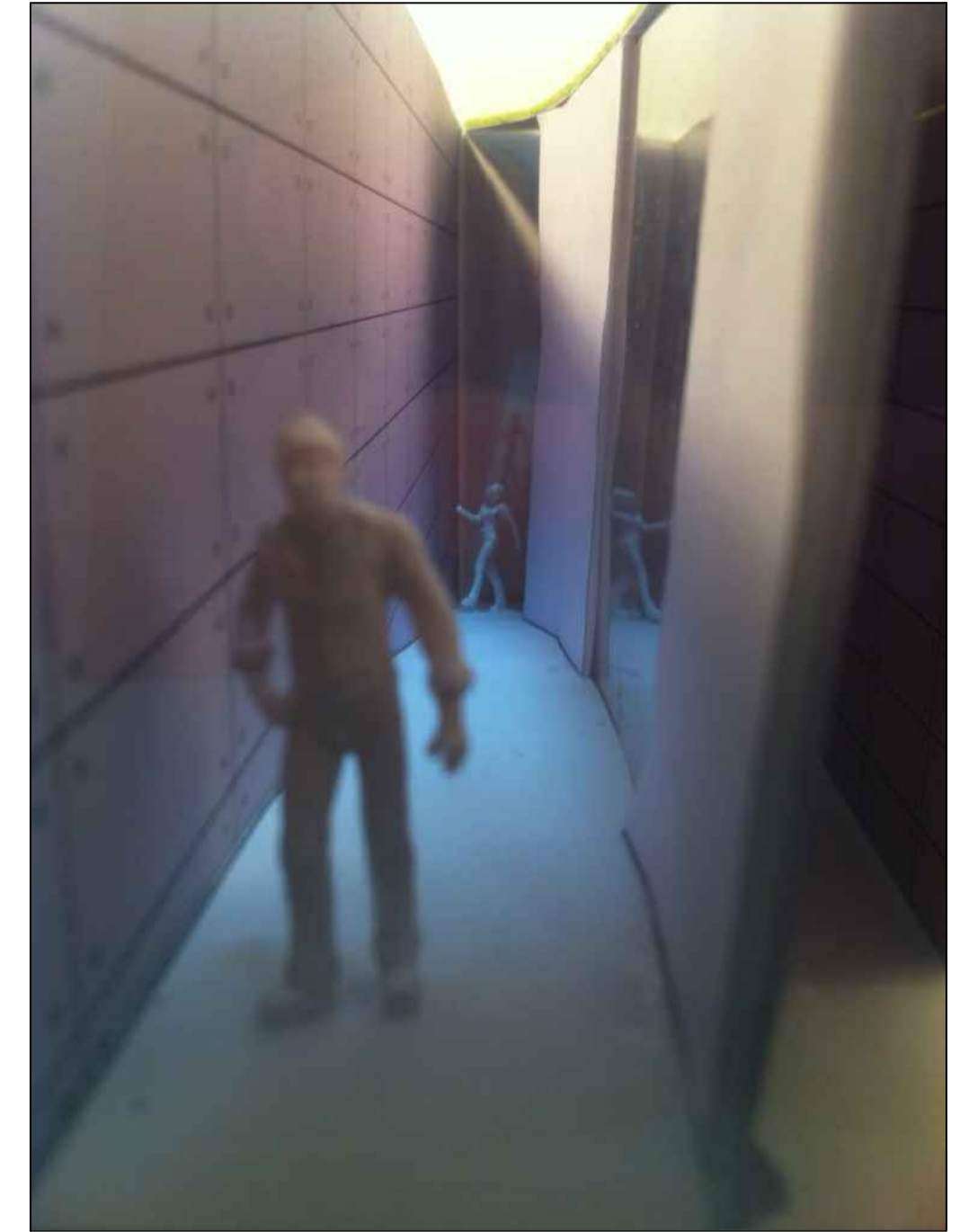
8mの一様な壁を設けることにより、行き止まりや他の半閉鎖的空間を強調し、そこへ人が空間を作る状況を提供する。

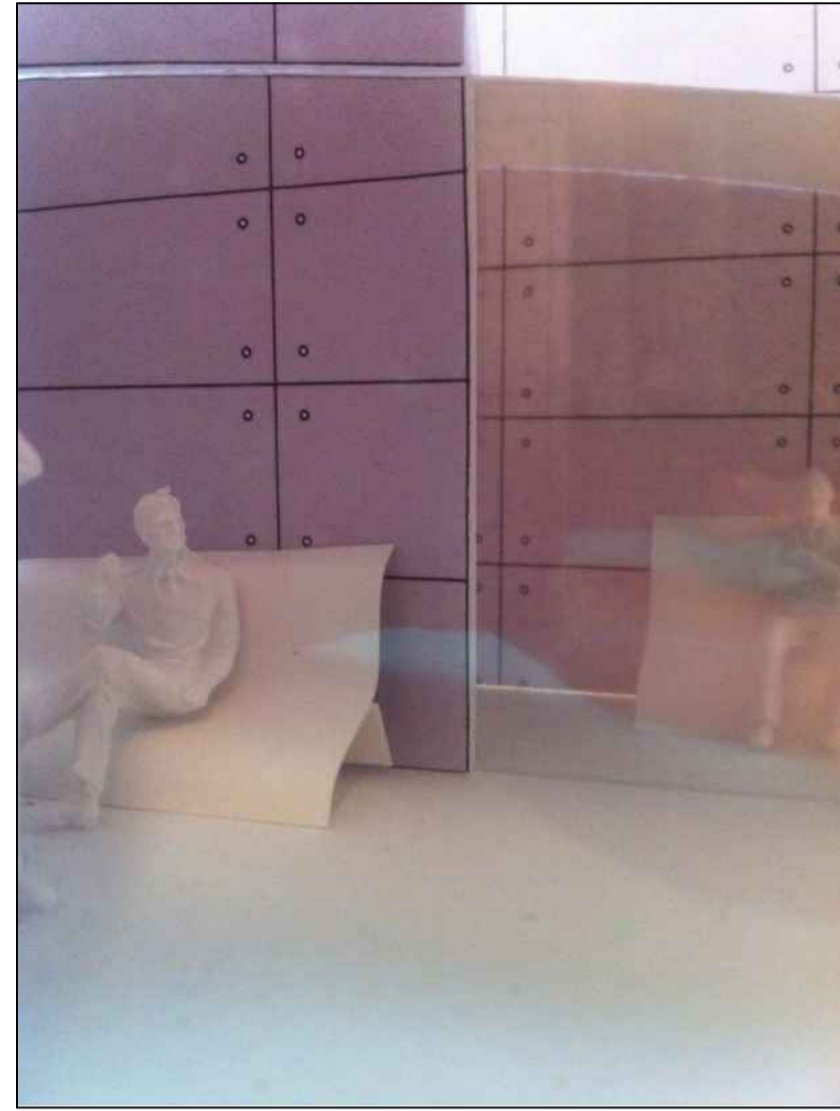
この先この壁がなくなり開放的になろうとも、一度定着した空間はこの習慣により、なくならないと考えた。それ故に、もし壁

がなくなり開放的に近づき、空間的要素が多少失われようとも、この習慣により、通路はただの通路になることはないであ

ろうと考える。

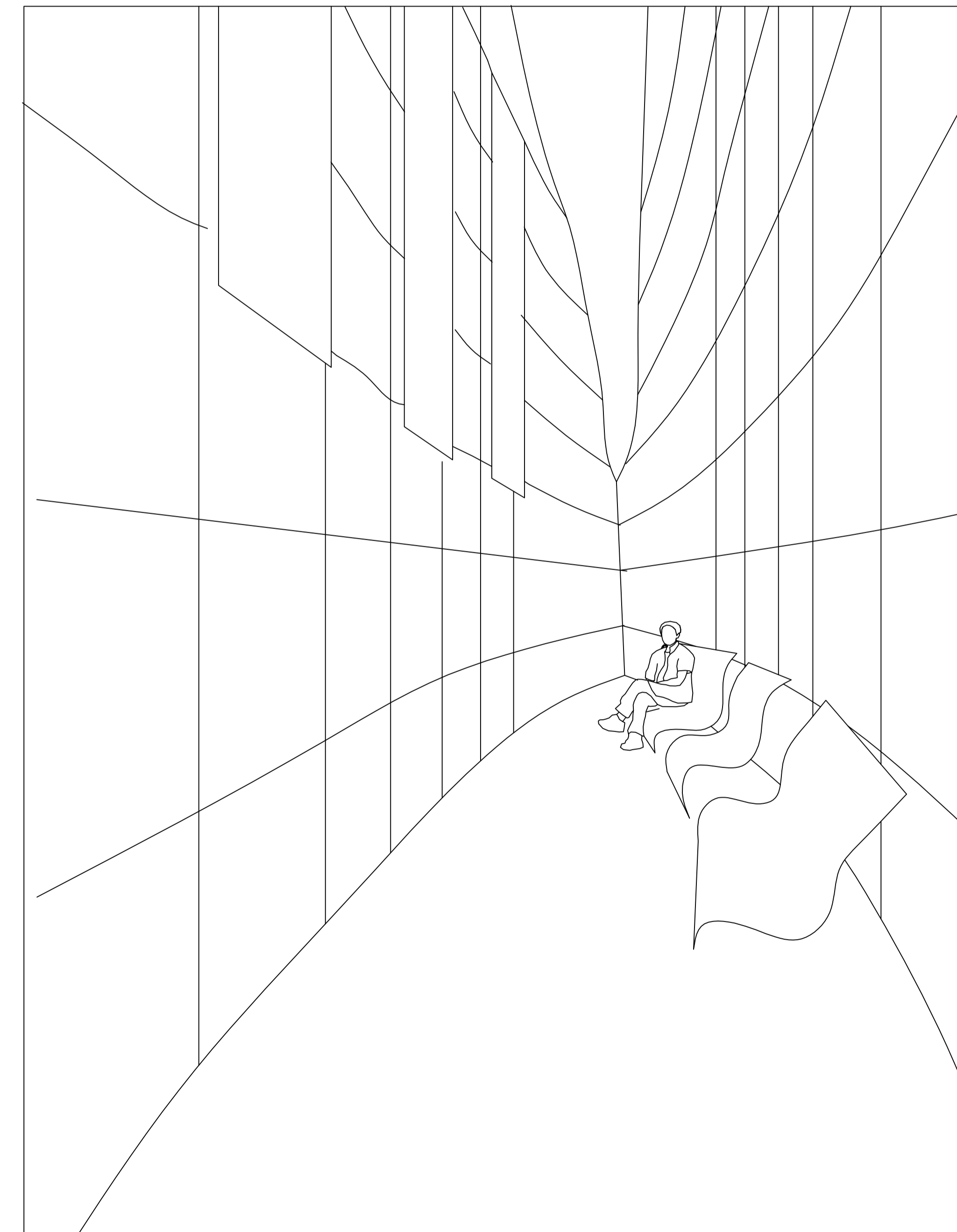
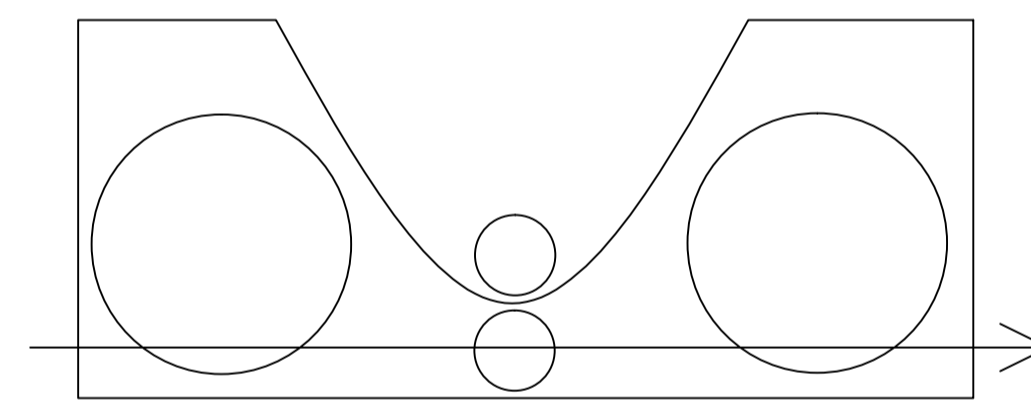
つまり、北側の開放的と南側の閉鎖的を強く表現することにより、通路により半空間的要素を与えることができると考えたのである。





この通路は幅5mととても細長い空間になっているが、その中でも極端に狭いところや、逆に5mめいっぱいとなっている所、また、天井までの距離が8mもあるところと、2.5mしかないところのとても極端な作りになっている。

人は独自の空間を作る過程において、ただの均一化された場所ではそこに空間を作りがたいと考えた。空間に変化を持たせることで、一般的な通路という概念を曖昧にし、且つそれによって半空間が生まれやすい状況表現した。



## 通路のマイナス因子

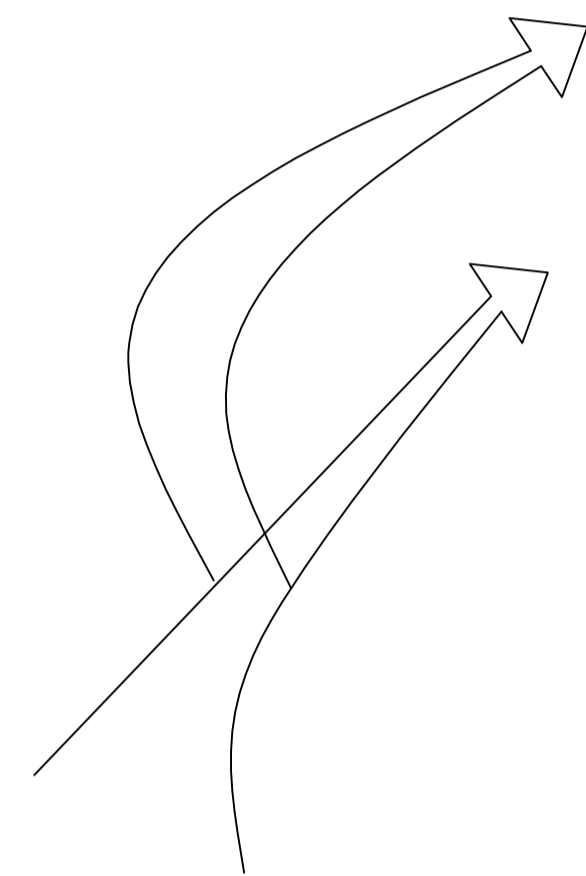
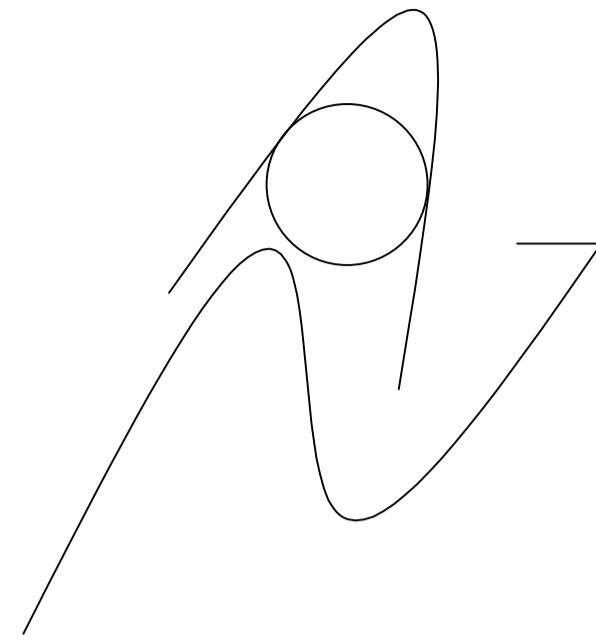
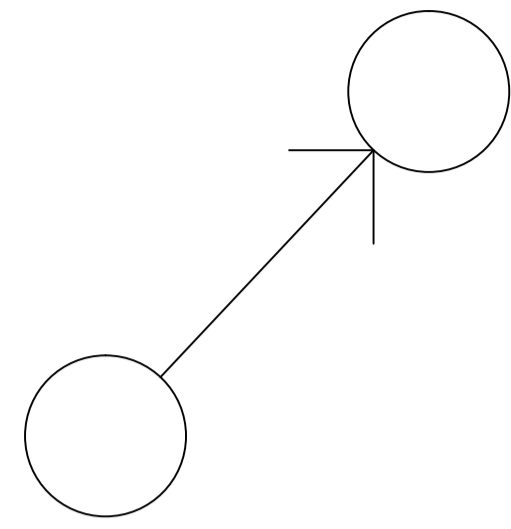
空間とは足を止め、読書をしたり、睡眠したり、時には考えリラックスしたりなど個人の時間がそこで成り立つ場所となっている。

しかし通路はある空間から空間への通過点にすぎず、一般的に言う通路とは、通路においては、個人の空間というものが成り立たない。

## プラスへの転換

通過点にすぎないものに、行き止まりや、立体的表現などの若干の空間的要素を加える事で、そこを利用する者が自分独自のスペースや時間を生み出すことのできる通路となりうる。

また、これによって表現された「通路」は、完全な空間ではなく、また住宅や駅やデパートなどにある「通路」とも違うものとなることで、コンセプトに掲げている「有用性」や「多角的用途」を表現していると考ええる。

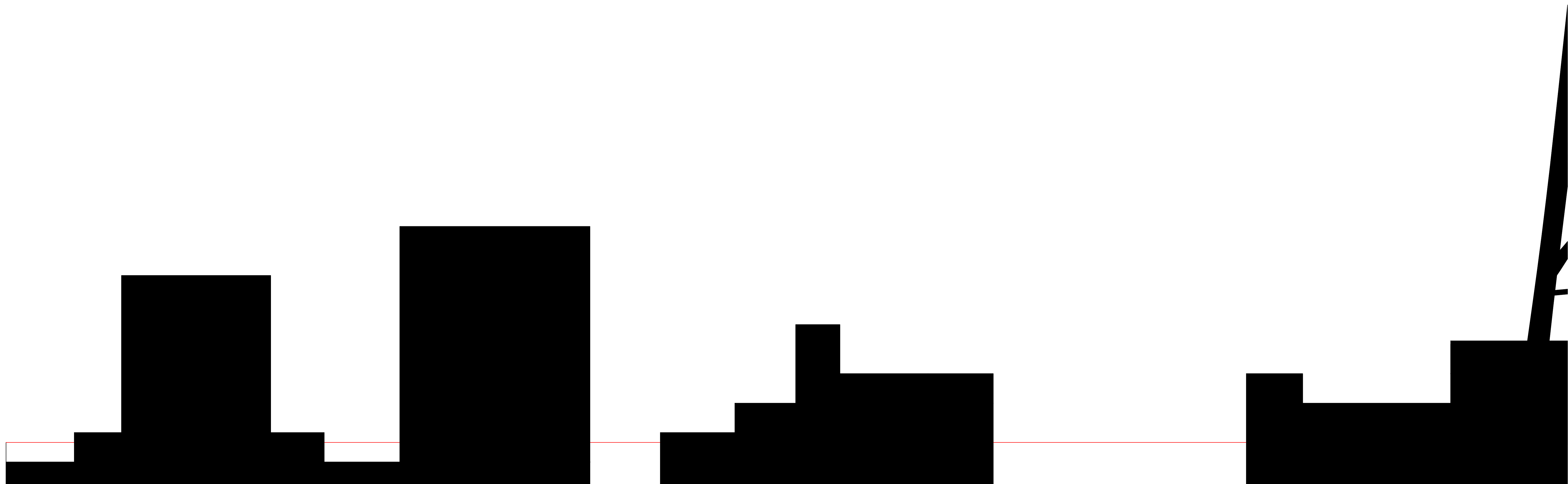


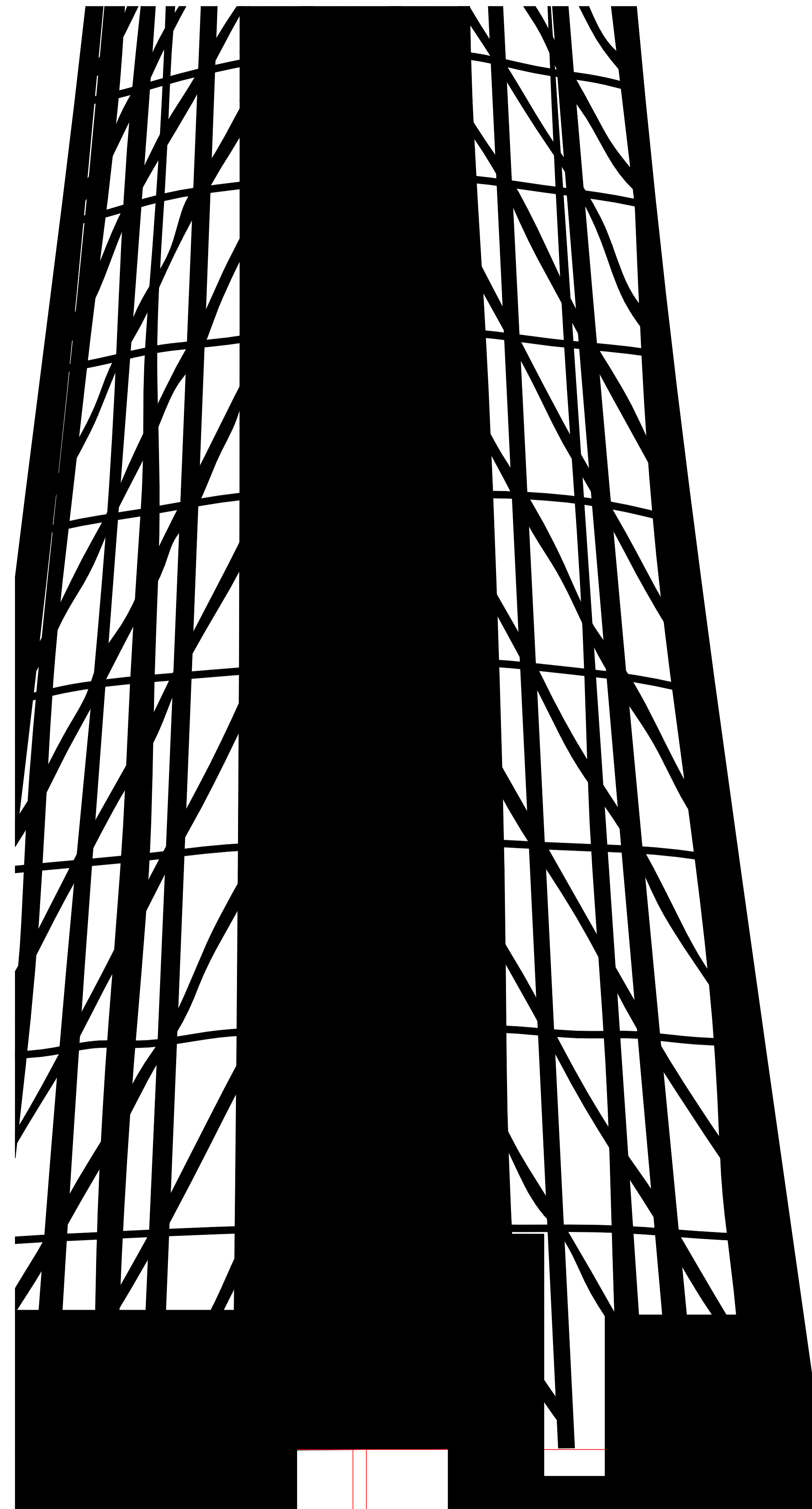
## 高低差と距離

「立体的な表現」という点において、基本的にこの通路には二階というものは存在しない。

しかし、一階から、スロープ状の天井に登るといった感覚で表現することで、最大8mの様々な高低差のある半空間でスカイツリーを望むことができる。

また、380mもの距離のあるこの通路を創造するにあたって、多角的に「スカイツリー」を望める。





#### 南側の壁

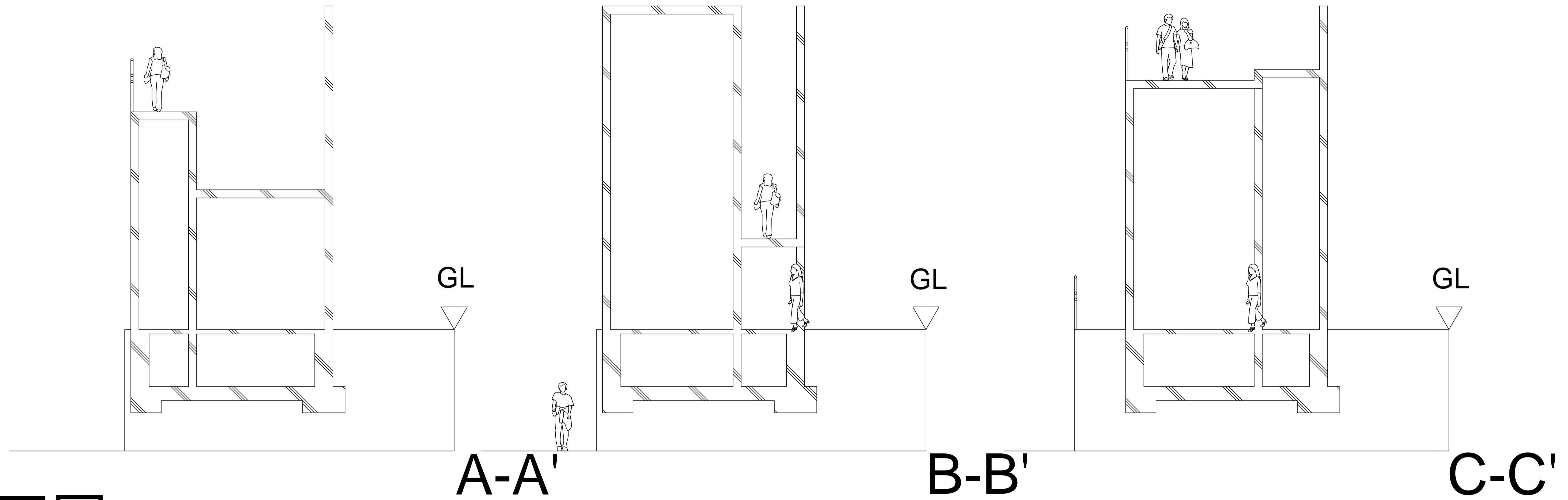
今回北側を大きなよマドや曲線の壁や統一されていない高さの壁にすることで、開放的に、南側を高さ8mの壁で統一した。

これによって、スカイツリーの「+」イメージと商業衰退の「-」イメージを強く表現した。

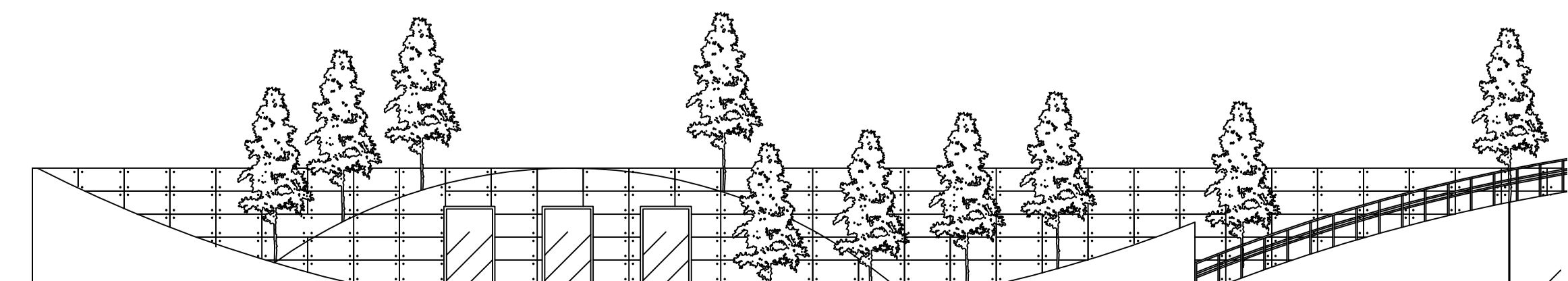
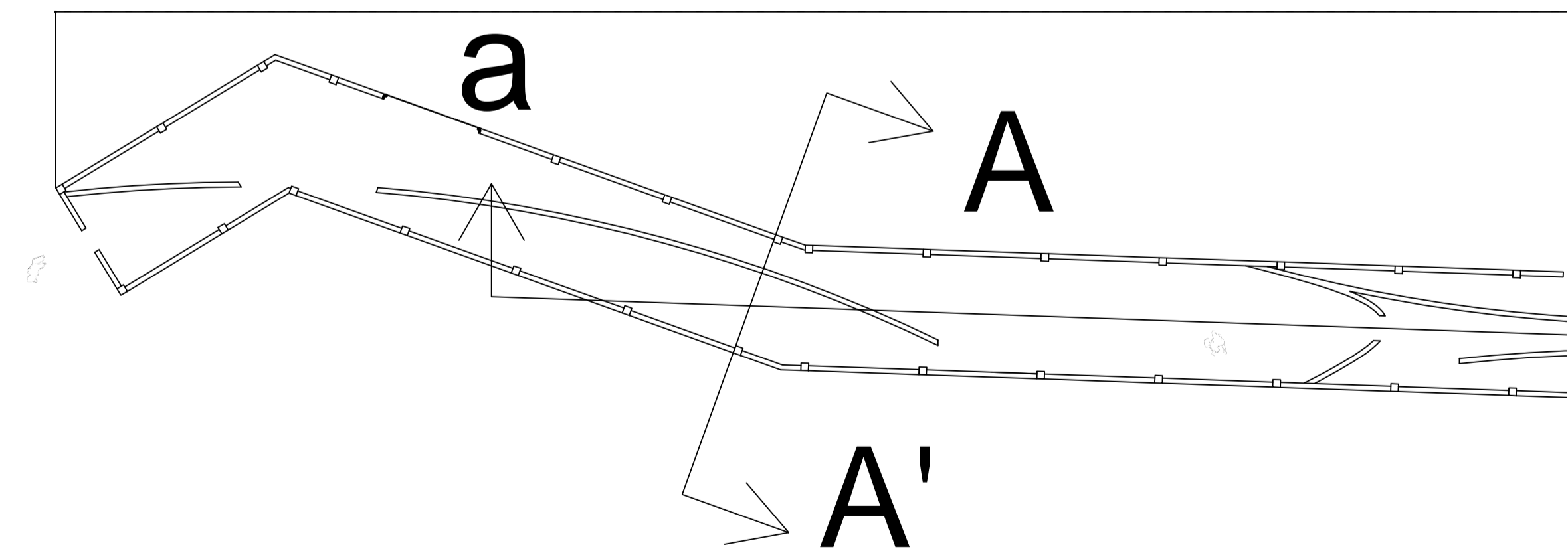
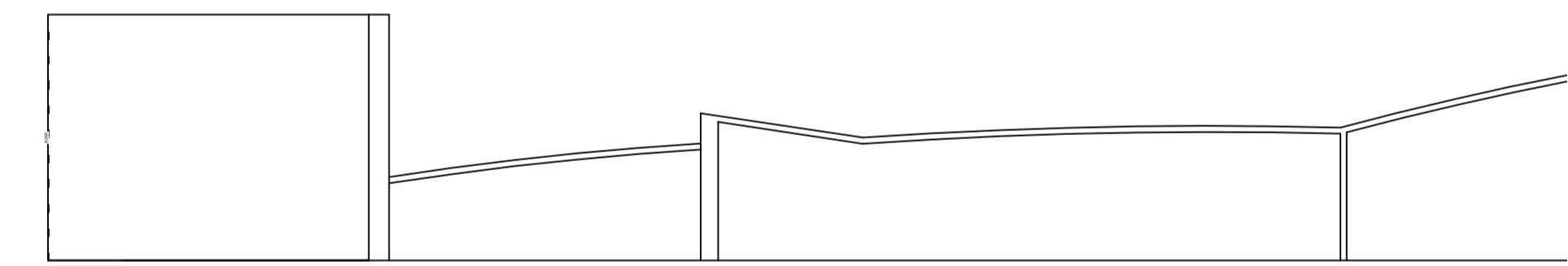
しかし、この通路は既存の飲食店やコンビニとはドッキングされて創造されている。

また、現段階で極端に対比させ閉鎖的にすることで、今後南側が次第に発展すると共に

この壁が徐々に開放され、最終的に南北共に開放的になることで、「-」から「+」への転換を表現している。



断面图  
1:50



南侧立面图 1:200



